

2026 年 8 月 29 日作成 Ver.1.5

《情報公開文書》

ストーマ装具選択とストーマトラブルの関連性について

研究の概要

【背景】

ストーマ管理は、装具交換や皮膚観察を含む一連の手技であり、適切な装具選択が患者の QOL 維持に直結します。ストーマ装具は平面型・凸面型を含め約 200 種類存在し、サイズや凸面の高さも多様です。現在はフローチャートに基づき看護師が選択しているが、経験や知識の差により適切な判断が難しい場合も多くあります。装具が患者の腹壁形状と適合しない場合、漏れ・皮膚障害・臭気などのトラブルが発生し、QOL を著しく低下させます。しかし、装具選択とトラブル発生との関連性についての原著論文はなく、十分なエビデンスが蓄積されていません。対象病棟では 2024 年 9 月から週 1 回のストーマカンファレンスを導入し、皮膚・排泄ケア認定看護師の助言のもと装具選択を評価・検討しています。その結果、従来は、退院後に、皮膚・排泄ケア認定看護師がストーマ外来で凸面装具へ変更されるケースが多かったのですが、入院中から適切に凸面装具を使用できる症例が増加しています。このことから、装具選択の適正化に資するデータを収集することは、臨床看護実践上最も重要な課題となります。

【目的】

ストーマ装具の選択（種類・サイズ・使用期間など）とストーマトラブル（皮膚障害・漏れなど）の発生を比較検討します。

【意義】

装具選択とストーマトラブルの発生を明らかにすることで、看護師が装具の特徴を理解し、患者のセルフケア能力・ADL・ストーマの状態に応じた適切な装具選択を行えるようになると考えます。これにより、患者に対し安定したストーマケアを提供し、皮膚障害の予防および QOL 向上につなげることが期待されます。

【方法】

下記のカルテ情報を用いて、ストーマ装具の選択とストーマトラブルとの関連性を明らかにしていきます。

対象となる患者さん

令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日の間に長崎大学病院旧腫瘍外科(大腸・肛門外科)で新規ストーマ造設した患者さんを対象とします。

研究に用いる情報	
・患者背景：性別、年齢、手術後のADL ・ストーマの状況：ストーマ造設部位、ストーマ造設位置、ストーマサイズ、排泄物の性状、腹壁の状態 ・ストーマ装具：使用装具、使用アクセサリ、交換間隔（何日毎の交換であるか） ・ストーマトラブル：ストーマ周囲 10 cm以内の皮膚障害の有無（紅斑、びらん、潰瘍）、便潜り込みの有無、便漏れの有無 ●研究に用いる情報 上記の情報を診療録より収集します。 本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。	
情報の利用開始予定日	
本研究は 2025 年 10 月 23 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。 あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。 あらかじめご了承ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2026 年 3 月 31 日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学病院 8 階西病棟 氏名：野平 佳緒里 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7398
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学病院 8 階西病棟 野平 佳緒里 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7398 FAX 095（819）7888	

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）